

接触者の リストアップ

【学校編・解説】

リストアップの流れ

- ① 感染者等からの聞き取りで発症日（無症状の場合は検体採取日）を確認
- ② 調査対象期間（発症日2日前～最終登校日）を確認
その間の登校日等を確認

- ③ 感染者と関係者のマスクの着用の場面に応じて、右の表に基づき、接触者のリストアップを実施

鼻マスクや、マスクをアゴにずらしている状態は、「マスクなし」と判断

感染者と関係者のマスクの着用状況

		関係者	
		マスクなし	マスクあり
感染者	マスクなし	場面A	場面B
	マスクあり	場面B	※

- ④ 「対応方法」に基づき、対応

※ 両者がマスクを着用していても、感染症対策によっては感染リスクがあることに留意

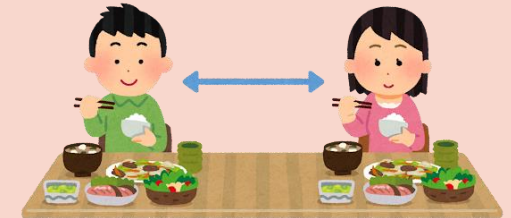
場面 A お互いマスクなし (昼食、体育・部活動、歯磨き等)

鼻マスクや、マスクを
アゴにずらしている状
態は、「マスクなし」
と判断

リストアップの基準&リスク判定

①感染者と同じテーブル等で食事をしていた児童生徒、教職員

- 例) ・仕切りがなく、向かい合わせで食事をしていた。
- ・隣り合わせで1m以内の距離で食事をしていた。
- ・換気の悪い環境で食事をしていた。
- ・大きな声で話をしていた。



②体育や部活動等において、15分以上感染者と近距離で活動していた児童・生徒、教職員

- 例) ・対面形式となるグループワークをしていた。
- ・近距離で組み合ったり接触したりする運動をしていた。

③歯磨き等の場面において、1m以内で活動していた児童生徒、教職員

1つでも当てはまる人をリストアップする

場面 A お互いマスクなし（日常の学校生活）

リストアップの基準&リスク判定

- ①感染者と対面で1m以内で、会話をしていた児童生徒、教職員
- ②感染者と日常的に一緒にいた児童生徒、教職員
- ③感染者と窓や換気扇がないなど換気の悪い環境で長時間過ごした児童生徒、教職員（更衣室や部活動の活動場所など）
- ④その他（上記以外で感染者と密に接触があった児童生徒、教職員）



アゴにかける



鼻マスク

1つでも当てはまる人をリストアップする

鼻マスクや、マスクをアゴ
にずらしている状態は、
「マスクなし」と判断

場面B どちらかマスクなし

リストアップの基準&リスク判定

- ①感染者と対面で1 m以内で、15分以上会話をしていた児童生徒、教職員
- ②感染者と日常的に一緒にいた児童生徒、教職員
- ③感染者と窓や換気扇がないなど換気の悪い環境で長時間過ごした児童生徒、教職員（更衣室や部活動の活動場所など）
- ④その他（上記以外で感染者と密に接触があった児童・生徒、教職員）

1つでも当てはまる人をリストアップする

対応方法

- ① 学校は、リストアップされた児童生徒、教職員に対して、感染の可能性があるため、当該者に外出自粛（5日間（6日目解除））や健康観察（7日間）の協力を依頼
- ② 学校は、学校医等と相談し、臨時休業の必要性、範囲、期間等を学校の設置者に報告
- ③ 学校の設置者は、学校からの報告を踏まえて、臨時休業等を決定
- ④ 臨時休業を実施する場合、学校は、児童生徒、教職員及び保護者に対して周知



症状がある場合は、

- ・ **かかりつけ医**
- ・ **北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター (0120-501-507) (24時間)**
- ・ **最寄りの診療・検査医療機関** へご連絡ください。